西高校生レポート

西高農場は、地域とともに先端技術の研究･研修、憩い、自然とのふれあいの『場』として開放しています。

２月19日に、県大会出場選考会を兼ねた「意見発表会」を開催しました。農業クラブに在籍する１年生全員と総合学科生物資源系列の２年生の中から、代表者10名が順に登壇し、この１年間の活動を通して、地域や食、農業について感じた意見や、今後の抱負を堂々と主張しました。

開会式で藤田校長は「「学ぶ」ということは疑問に思い、その疑問に立ち向かう姿勢が大切。この発表会においても聞く側も自分の考えを膨らませる良い機会であり、これを今後の学習に生かしてもらいたい。」とあいさつしました。

審査では最優秀賞１名と優秀賞３名が決定し再度校内選考した上で、１～２名が６月に開催される県大会に能代西高を代表して出場します。

最優秀賞

２年Ｂ組　原田　穂佳さん

発表題:「農業の魅力を理解してもらうために」

「農業者人口の減少について、幼稚園から小学校までは田植え体験など農業に関する授業が豊富で、今でも良き思いでとして残っている人は私の他にもたくさんいると思う。」

「それが、中学校進学を境に極端に農業に関する授業が少なくなり、進路を決める頃には、農業への選択肢が先細りとなっている。」

「これが、農業者人口の減少に繋がっている要因の一つではないかと考えた。」

「これからの学びを通じて農業の魅力を発信できるきっかけ作りを考察したい。」

２年Ｂ組　佐藤　秋美さん

発表題
「風の松原再生にむけて」

１年Ａ組　鈴木　未来さん

発表題
「円滑なコミュニケーション方法」

１年Ａ組　成田　舞雪さん

発表題
「能代の伝統文化と食文化について」

１年Ｂ組　佐藤　千華さん

発表題
「祖父から学んだ農業の大切さ」

１年Ｂ組　杉本　楓夏さん

発表題
「秋田の食文化、伝統文化について」

１年Ａ組　大渕　巧光さん

発表題
「農業クラブ活動を通して」

優秀賞

２年Ａ組　佐藤　愁椰さん

発表題:「魅力発見」

「これまで、農業分野に魅力を感じることが出来ないでいた。」

「昨年インターンシップで朝場畜産様に夏休み等を利用して10日間お世話になった。」

「本校の農場とは桁違いの頭数や設備に見るもの全てが衝撃的であった。」

「朝場畜産様でご指導いただいたことがきっかけで、4月からは畜産部門を選考することに決め、さらに探求する決心がついた。」

２年Ａ組　佐藤　晴也さん

発表題:「鳥獣害と向き合う私の覚悟」

「農業を仕事（収入源）にし働く兄の姿がカッコよく尊敬する。」

「自分も農業に携わる仕事がしたいと考え始めた。」

「鳥獣被害が急増している原因が、一次産業の衰退と調べた。」

「農業に従事し一次産業を守りながら、ジビエハンターの資格を取得して、これも収入源とした農業を将来的にやってみたいと思う。」

１年Ｂ組　伊藤　遥希さん

発表題:「ITとともに」

「若年農業者人口が減少傾向にあるのは昔から言われる3K（きつい･汚い･危険）が要因。」

「オランダではスマート農業を先進的に活用し、農業生産物世界第二位の輸出国となっている。」

「これからの勉強を通じて、新しい3K（かっこいい･稼げる･効率がいい）の農業を提案できるよう頑張りたい。」